

連合宮城 2026 春季生活闘争「2.28 総決起集会」



2.28 勝利総決起集会

連合宮城 2026 春季生活闘争



連合宮城は、今次闘争を取り巻く情勢や構成組織の取り組み方針の共有、勝利に向けた団結を目的に、2026春季生活闘争「連合全国アクション2.28 中央集会」と連動し、以下のとおり「勝利総決起集会」を開催した。



- 開催日時 2026年2月28日(土) 10時00分～11時30分
- 開催場所 仙台市錦町公園
- 開催内容
 - (1) 主催者あいさつ
 - (2) 2026 春季生活闘争に係る情勢報告
 - (3) 各構成組織における決意表明 (自治労、私鉄総連、紙パ連合)
 - (4) 集会アピール(案)採択 (連合宮城青年委員会)
 - (5) 団結ガンバロー
- 参加人数 約 300 名



冒頭、主催者あいさつとして大黒会長は、「今次闘争のキーワードは『5、6、7(%)』。先日の地方委員会で我々は、4年連続となる「5%以上」の賃上げ要求を確認した。さらに中小労組においては格差は正分とした1%を上乗せし、「6%以上」の賃上げを設定している。また、非正規雇用労働者の賃上げ目標も初めて示し、宮城県の地域別最低賃金の引上げ率(6.68%)を上回る7%を目安としている。ここ宮城県は、約7割の方々が中小企業に雇用されており、物価高と人手不足が続いている中において、今次闘争で求める賃上げは「人材確保・定着」が最大の目的となる。労務費を適切に反映した価格転嫁を進めるとともに、サプライチェーン全体で生み出された付加価値を適正に分配していくことが不可欠である。『良いモノ・良いサービスには見合った値が付く』といった適正な評価の文化を社会全体で共有・実践していくことで地域経済の安定と発展につながり、最終的には物価上昇を上回る賃上げの実現へと結びつけてまいりたい。本日集まったこののぼり旗(シンボル)に結集し、2026春季生活闘争勝利に向けて一致団結しともにガンバロー！」と述べた。

つづいて菊池事務局長より、今次春季生活闘争を取り巻く情勢について説明を受けた後、自治労・私鉄総連・紙パ連合の3つの構成組織より情勢報告・決意表明を受けた。

その後、連合宮城青年委員会能崎委員長が集会アピール(案)について読み上げ、参加者全員の拍手で採択された。最後は大黒会長発声の下、今次春季生活闘争の勝利に向けた「団結ガンバロー」で締めくくり、閉会した。

集会終了後は昨年引き続きデモ行進を展開し、持続的な賃上げの定着の実現に向けて、社会の隅々まで賃上げの流れを浸透させるべく世論喚起を行った。





2026 春季生活闘争労使懇談会

連合宮城 2026 春季生活闘争



連合宮城は、春季生活闘争におけるヤマ場の前段において、連合宮城・宮城県経営者協会「労使懇談会」を以下のとおり開催し、2026 春季労使交渉に関する諸課題について意見交換を行った。

- 開催日時 2026年3月5日(木) 14時00分～15時00分
- 開催場所 江陽グランドホテル4階 真珠の間
- 開催内容 (1) 労使代表者あいさつ
(2) 「2026 春季生活闘争に関する要請書」手交
(3) 意見交換会
- 出席者 連合宮城四役(9名)、宮城県経営者協会(12名)



宮城県経営者協会の増子会長は、経労委報告のポイントについて触れるとともに、①原資を安定的に確保するためには、「生産性の改善・向上」が不可欠であり、あらゆる施策を投じた業務の効率化が重要、②「構造的な賃上げ」の実現には、「賃金は上がっていくもの」という考え方が広く認識されるとともに、「適正な価格転嫁と販売価格アップの受入れ」が社会的規範として浸透することが重要、③ベースアップの検討が賃金交渉におけるスタンダードであり、賃上げの力強いモメンタムの「さらなる定着」に向けた重要な柱と位置付けて取り組む、と述べた。また地方の立場として、「規模間格差是正をはかるため、中小企業には継続的な賃上げが求められていると認識している。一方で、長引く物価高騰や人手不足、なかなか進まない価格転嫁など、中小企業は厳しい経営環境に置かれている。ここ数年、中小企業においても約30年ぶりとなる高水準の賃上げとなったものの、何とか賃上げ原資を捻出している企業も少なくない。このような対処療法では、逆に「稼ぐ力」を損ない、賃上げを継続していくことは難しくなる。原資を安定的に確保するためには、「生産性の改善・向上」と「適正な価格転嫁」が不可欠であるが、中小企業の賃上げを後押しするためにも、大手企業による人的・技術的サポートや国・自治体による支援など、より一層の環境整備が必要だと考えている」と挨拶。

連合宮城の大黒会長は「『賃金も物価も上がらない』という長年の停滞は、将来不安を高め、消費の低迷や人材の流出を招く大きな要因となってきた。一方で、近年の労使の継続的な対話により、賃上げを起点とした前向きな変化が確実に広がりつつある。この賃上げの流れは、「人への投資」を軸とした経済の好循環を生み出す重要な一歩であり、労使が同じ方向を向き、粘り強く取り組んできた成果であると受け止めている。しかしながら、物価上昇の影響はいまだ大きく、「生活の向上」を実感するまでに至っていないのが現実であり、人口減少と労働力不足は宮城県内の中小企業にとっても極めて深刻な課題となっている。人材の確保と定着は企業の持続的成長に不可欠であり、そのためには賃金をはじめとした処遇改善と、安心して働き続けられる職場環境づくりが最優先事項である。あわせて、労務費を含めた適正な価格転嫁やサプライチェーン全体で生み出された付加価値の適正な分配が欠かせない。「良いモノ・良いサービスには相応の値が付く」という適正な評価の文化を社会全体で育むことこそが、地域経済の安定と発展につながると確信している。「新しいステージ」への転換・定着の段階においては、実質賃金の持続的な上昇を伴う賃上げのため、物価上昇を上回る継続的な取り組みが不可欠であり、さらには最低賃金の引き上げ、非正規雇用の待遇改善、そして女性や若者がその能力を最大限に発揮し活躍できる環境づくりなど、幅広い取り組みを着実に進めていく必要がある」と述べた。

労使懇談会では今次春季生活闘争を取り巻く状況について意見交換を行った。

●連合宮城 2026 春季生活闘争に関する要請項目

- (1) 賃金引き上げ、「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みについて
- (2) 労務費を含めた適切な価格転嫁等の取り組みについて
- (3) 「すべての労働者の立場にたった働き方」の改善について



連合宮城



宮城県経営者協会

連合宮城青年委員会「2026 青年春闘フォーラム」を開催!

連合宮城青年委員会は、2026春季生活闘争の取り組みとして「2026青年春闘フォーラム」を開催した。

当日は15時から一番町平和ビル前にて、「サブプロク(36)の日」に合わせて街頭宣伝活動を行いながら、まちかどアンケートとして「労働時間」「時間外」などについて市民アンケートを実施した。

その後の春闘フォーラムでは、幹事も含め20名(内女性2人)が参加し実施した。主催者を代表して能崎青年委員長は、春闘の情勢に触れながら春闘フォーラムの主旨について説明、今後も青年活動への参加をお願いした。山崎事務局長からは、街宣の「まちかどアンケート」結果の特徴点など、市民の皆さんが労働時間などについてどのように感じているか報告をした。

今年のセミナーは、講師を設けずオールタイムディスカッションスタイルをとり、テーマとして「わが社の押しポイント」若者目線でリアルに再発見!～未来の働き方をつくるのは、私たちだ～ ≪ 会社の制度、実際どう?本音トーク ≫ について、和やかなムードで意見を交わした。

短時間での開催となったものの、それぞれの会社の特徴や制度など意見交換をしながら情報共有でき、有意義な春闘フォーラムとなった。

- 日 時 2026年3月6日(金) 17:00～19:00
※ 青年層によるAction36 街頭行動 15:00～15:40
- 場 所 ハーネル仙台2階 松島B
- 内 容 ①開 会 山崎事務局長
②主催者挨拶 能崎委員長
③グループディスカッション
“わが社の押しポイント” 若者目線でリアルに再発見!
～未来の働き方をつくるのは、私たちだ～
≪ 会社の制度、実際どう?本音トーク ≫
④閉 会
- 参加者 20人(内女性:2人) 幹事:7人、事務局:4人



◀写真上から2枚目街頭宣伝の様子、3枚目まちかどアンケートの様子、4枚目グループディスカッションの様子

連合宮城女性委員会「3.8国際女性デー宮城県行動」を実施!!

3.8国際女性デー宮城県実行委員会(連合宮城女性委員会・立憲民主党宮城県連・I女性会議宮城県本部)は、3月8日(日)、2026春季生活闘争と連動し、女性の地位向上や男女平等の取り組み推進を目的として宮城県行動を開催し、総勢95名が参加した。

宮城県集会においては、「女性と防災」をメインテーマに設定し、震災から15年を前に、宮城県防災指導員・仙台市地域防災リーダーの緑上浩子氏より講演をいただき、2011年東日本大震災の避難所運営を振り返り、意思決定機関がほぼ男性のみで占められ、女性が炊き出しや清掃に固定され判断の場に関われなかった実態を指摘。女性が正しい知識と資格を身につけ、意思決定の場へ積極的に参加することの重要性を強く訴えた。

集会後は一番町平和ビル前に移動し、構成団体によるリレートークを実施。防災情報入りチラシのティッシュ1,500個と国際女性デーのシンボルであるバラ1,000本を配布し、ジェンダー平等の実現を広く呼びかけた。

◀宮城県集会▶

- 日 時 2026年3月8日(日) 10:00～11:20
- 場 所 宮城県民会館6階 602会議室
- 内 容 <基調講演> 演題:「女性と防災」
講師:宮城県防災指導員・仙台市地域防災リーダー
緑上 浩子 様
<集会アピール採択> 連合宮城女性委員会 笠原事務局次長
- 参加者:全体約95名(連合宮城より75名 ※女性委員会含む)

◀街宣行動▶

- 日 時:2026年3月8日(日) 11:45～12:30
- 場 所:一番町平和ビル前
- 内 容:チラシ入りティッシュ1,500個、バラ1,000本配布



◀写真上から2枚目講演をいただいた緑上浩子氏、3枚目街頭宣伝の様子、4枚目配布(バラ)の様子